

米 老人保健施設たかはらへ寄贈 寿を迎え感謝の気持ちで

4月27日（水） 老人保健施設たかはら

神岡町船津在住の松下輝雄さん（88歳）は4月27日、老人保健施設たかはらに、鑄物の額一式と100万円を寄贈しました。

松下さんは、昨年、米寿を迎えたのを機に、地域の高齢福祉事業に役立ててもらいたいと寄付を申し出ました。この日、同施設では額の引き渡し式が行われ、松下さんから小倉副市長に目録が手渡され、松下さんは「米寿を迎えることができ、感謝の気持ちを伝えられた」と話しました。小倉副市長は「市の高齢者福祉事業に理解をいただき、大変感謝しています」とお礼を述べました。



小倉副市長に額などの目録を手渡す松下さん（右）

交 受賞の喜びを報告 交通安全功労者表彰

4月11日（月） 市長室

平成 28 年岐阜県交通安全県民大会で表彰された方が4月11日、市役所を訪れ、市長に報告しました。

市内で今回表彰を受けたのは古川町の森下宗四郎さんと飛騨地区交通安全協会古川支部、同神岡支部、河合町のほほえみ会の個人1名と3団体です。

森下さんは「事故はいつ起きるか分からない、という気持ちで活動してきました。この受賞を糧に、今後も全力で取り組みたい」と話していました。

市長は「皆さんのたゆまぬ努力に敬意と感謝を表します。これからも地域の安全を守ってほしい」と話していました。



受賞された森下さん（右端）と2団体代表者

古 青龍台組が熊本地震の被災地へ義援金 川祭で義援金募る

4月28日（木） 青龍会館（古川町）

古川祭の青龍台組（殿町連合区）が4月28日、熊本地震の復興に役立ててほしいと、都竹市長に義援金を手渡しました。

青龍台組では義援金箱を準備し、古川祭のからくり奉納時や屋台曳行の際に観光客や沿道の皆さんから集まった義援金約14万円、祭りの準備にかかる費用などを節約して出来た費用、お供え物の販売した費用を加え、合計30万円の義援金を準備しました。

この日、青龍会館では殿町連合区を対象とした「市民と市長の意見交換会」が開かれ、その場で、板橋喜代司副総代から都竹市長へ義援金を手渡されました。



都竹市長に義援金を手渡す板橋さん（右）

高 神岡町で移動販売車の営業開始 高齢者へ生鮮食品届けたい

4月22日（金） 市役所

神岡町の坂本佳祐さん（希夢千家けいちゃん経営）は、神岡町の高齢者の買い物に役立てようと移動販売車「まごころけいちゃん」の営業を始めました。

坂本さんは、地元商店と委託販売契約を行い、契約先の商品や生鮮食品をはじめ、菓子や雑貨など約300品目を扱い、冷蔵庫付きの軽トラックで週6日神岡町全域を巡回し販売を行います。

4月22日には、完成した移動販売車で市役所に訪れ市長に報告しました。

坂本さんは「地域の商店と買い物に行けない高齢者などをつなぎ、ふるさとに貢献したい」と意気込みを語りました。



移動販売車で市役所に訪れた坂本さん



晴 古川町市街地で古川祭 天に恵まれ春の訪れ告げる

4月19日(火)・20日(水) 古川町市街地

春の訪れを告げる古川祭が4月19日、20日行われました。今年は両日とも晴天に恵まれ約44,000人が訪れ、豪華絢爛な屋台や起し太鼓など春の古川祭を堪能しました。

19日夜間には、さらし姿の裸男がぶつかり合う「起し太鼓」が行われ、出立祭の行われたまつり広場では、さらし姿の男たちの熱気が漂っていました。翌20日には、早朝からまつり広場で9台の屋台が曳きそろえが行われ、からくりや子ども歌舞伎が奉納されました。



勇壮な起し太鼓とぶつかりあう各組の付け太鼓



屋台の曳き揃えと獅子舞



提灯で彩られた夜祭

神岡町市街地で飛騨神岡祭 社で春の訪れを祝う

4月23日(土) 神岡町市街地

飛騨三大祭りの1つに数えられる飛騨神岡祭が神岡町市街地で4月23日に行われました。

時代絵巻を思わせるような豪華大行列が、優雅な祭り囃子とともに市街地を巡行し、訪れた観光客らを魅了しました。祭の最後には「神遷し」が行われ、鶏闘楽や神楽たちに導かれるように神様を乗せた神輿が一気に神社の本殿に駆け込み、厳粛に祭を締めくくりました。



平安絵巻を思わせる祭り行列



金蔵獅子



躍動感溢れる鶏闘楽